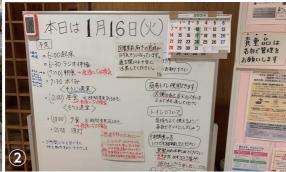
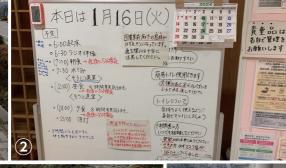
①七尾市の避難所となった













な夜8被

防災訓練&



能登でも活躍した消防団 地域の力があなたを守る

能登半島地震では、地元の消防団が 避難誘導や救助にあたるなどし、重要 な役割を果たしました。これを受け、 国が全国の自治体に対して消防団員を 確保し地域防災の充実を図るよう求め るなど、消防団の役割は重要性を増し ています。消防団は自営業や会社員な どの本業を持ちながら、地域で火災な どの災害が発生した際に対応する地域 の人たちで構成されています。

北本市内には、6つの分団があり、 それぞれの担当している地域で火災予 防の巡回活動を行っています。普段か ら訓練を行い、火災発生時には、消防 職員と連携し、消火や救助活動を行い

消防団員 募集中



興味のある人は、 くらし安全課危機管 (25 594-5523) までご連絡ください。

国 1 1 月 1 7日(日)

消防団特別点検▶ 8:20 ~ 10:30

消防団では、災害に迅速に対応する準備 ができているか毎年点検します。限られ た時間で訓練を重ね、培ってきた規律正 しい操法・部隊行動等の様子をぜひご覧 ください。



防災訓練▶9:30~12:30



自宅で備えたいもの



● 災害用トイレ

- ・消臭、凝固剤が付属しているも のを選びましょう
- ・袋の物であれば、自宅のトイレ に被せて使用できます
- ・サイズがコンパクトな商品が多 いため、収納スペースが少なく 備蓄できます





2 食料·飲料水

- ・食べ慣れている、好みのメーカーの商品を選びましょう
- ・『多めに買う→定期的に食べる→買い足す』ようにすると、 上手に備蓄できます
- ・3~7日分、備蓄できるのが理想です

❸ ランタン・雷池・バッテリー

- ・ランタンは、リビング、キッチン、トイレの3か所に置くよう にしましょう
- ・バッテリーは、スマートフォ ンを2~3回程度充電でき るものが便利です



突如発生した能登半島地震 日頃から自宅に備えを

今年1月に突如発生した能登半島地 震。被災地である石川県七尾市に派遣 されたくらし安全課職員・植木優太主 事は、現地についてこう話します。 「避難者は、各自、毛布や段ボールを 使ってスペースを区切り、厳しい寒さ を耐えながら生活を送っていました。 そのような状況でも、避難所の運営等 に積極的にご協力いただけるなど、避 難者同士支え合いながら生活をしてい る様子でした。この災害派遣を通じて 改めて感じたのは、もし近いうちに地 震が発生した時に、家具等でけがをせ ず自分の身を守れるだろうか、自宅が 安全でも食料や灯りなど生活に必要な 物は用意できているだろうか、再確認 が必要だということでした。いつ発生 するかわからない災害を想定して、日 ごろから食料や水等を備え、家具を固 定してケガをしない対策をすること で、"その時"への備えができるよう になると思いますし